

第15回森吉山麓高原自然再生協議会議事録概要

○：委員

→：事務局

【協議事項1】 県の行う実施計画の今後の方向性について

○これまでの植栽を踏まえて、上長生長や肥大生長について、これまでのデータなどから今後10年ぐらい先の生長見込みがわかるグラフ等の作成ができないか。

→作成を検討する

○複数年にわたるプログラムは、参加者に参加した実績を示すワッペンなどを考えるべき。

○参加も公募だとまとめづらいので学校単位などで具体的に働きかけていく方がよい。

○学校は公式的に働きかけないと動かないのでその辺のあたりはつけておくべきではないか。

→教育委員会等と連携しながら学校へ働きかけていきたいと考えている。実施についてはより効果的な方法を検討する。

○上長生長を助けるための下草刈りも含めて、人を巻き込んだ形で、年間を通した活動として考えた方がよい。

○学校もよいが、クラブ活動なども視野に入れるべき。参加する側も興味がないと持続しないし、対象を絞り込んだ方がよい。

○協議会メンバーには解説活動できる人も居るので、そうした人材の活用も検討してもらいたい。まずは参加者を増やすことを考えてもらいたい。

→いろんな方策を含めて検討したい。

○補植の取扱はどうなっているか

→数年前に生育調査を行い、不良な2箇所について補植は行っている。

○今年の植樹イベントは予定していないということでしょうか？

→今年度事業でボランティア用地は造成するが、その活用として考えないといけませんが、現時点では白紙状態である。

○これまでの植樹イベントを見ても、毎年恒例のものがいないため継続性が薄い印象をうける。毎年続けた方が定着するのではないか。

○恒例のイベントは県内でも10年以上継続している団体があり、秋は毎週のように

植樹イベントが実施されている状況で、新たにとなると難しいので一般参加で出来るような草刈りやモニタリングも含めて何かしら続けていくべき。

- 星を見る会や音楽会など、この場所の立地特性を生かしたイベントとセットして人を呼び込むのもいいのではないか。
 - 植樹を行わずとも、ブナ林に貢献していくためのインセンティブが必要。白神ではやっていない、あるいは白神だけではないというものが必要。
 - 地元の小学校は人数が少なくなっているので効果が薄いのではないか。盆などに帰省した人を呼び込むような方策を考えた方がよい。
- いろいろと難しい面もあるが、なにかしら検討したい。

- ここまで至る市道が災害を受けてマイクロバスまでしか通行できないので、人を呼び込むにもネックになっている。まずは、その復旧を要望すべきではないか。
- 市道の復旧については、追って市役所に確認したい。

【協議事項 2】 協議会設置要綱の改正について

- 助言等とあるが、どこにどう助言するのか不明瞭。所管事項の（3）まで同列とはできないのではないか。
 - 協議会として主体的に助言なり、提案なりを行えるような位置付けで整理すべき。
- ご指摘を踏まえて、整理の上改めてご意見を伺いたい。

【その他】

- パンフレットについては、次回印刷時には参加した団体等が記載できれば PR 効果もでてる。
 - パンフレットは道の駅などのフリースペースにも置いてもいいのではないか。
- 団体等については検討し、フリースペースへの備え付けは提案を踏まえて実施する。
- 野外活動センターに掲示してある植樹情報が更新されていない。情報の更新と、この場所にも参加した団体名を掲示するなどの工夫をしてもらいたい。
- 了解した。